

心臓財団 季報



公益財団法人

日本心臓財団

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-10 松楠ビル6階

■Tel: 03-5209-0810 ■Fax: 03-5209-0830 ■e-mail: info@jhf.or.jp ■URL: https://www.jhf.or.jp

No.249 DEC.10, 2022

第23回日本心臓財団メディアワークショップ開催

日常に潜む脳卒中の大きなリスク、『心房細動』対策のフロントライン — 心不全の合併率も高い不整脈「心房細動」の最新知見 —

座長 ● 山口 徹 氏 (公益財団法人 日本心臓財団 常任理事)

講師 ● 妹尾 恵太郎 氏 (京都府立医科大学 循環器内科学 不整脈先進医療学講座 講師)

2022年10月6日(木) オンライン形式で開催

主催: 公益財団法人 日本心臓財団

後援: 公益社団法人 日本脳卒中協会

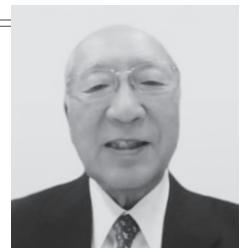
協賛: オムロン ヘルスケア株式会社

事務局運営: 株式会社電通メディカルコミュニケーションズ

2022年10月6日(木)、第23回日本心臓財団メディアワークショップがオンライン形式にて開催されました。メディアワークショップは、メディアの方々を対象に、循環器に関する最新の医学情報を正しく伝えることで、より多くの方々にメディアを通じて啓発していただくことを目的としています。今回は、高齢者を中心に増加する心房細動を取り上げました。

開会挨拶 山口 徹 氏 (公益財団法人 日本心臓財団 常任理事)

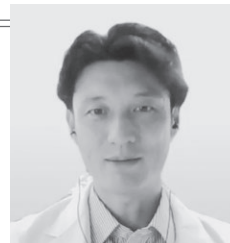
本日はお忙しい中、第23回日本心臓財団メディアワークショップにご参集いただきありがとうございます。日本心臓財団は、1970年に日本循環器学会と経団連が共同で、わが国における循環器疾患の予防啓発、克服のために立ち上げた組織です。日頃より心臓血管病に関する予防知識の普及啓発、予防活動に努めてまいりましたが、今回のテーマである「心房細動」については未だ周知が進んでおらず、その対策が喫緊の課題となっています。10月は、今回後援いただいた日本脳卒中協会が定めた脳卒中月間です。脳卒中が寝たきりの原因の第一位であることはよく知られていますが、実はその発生原因の約30%は心房細動です。本日は「日常に潜む脳卒中の大きなリスク、『心房細動』対策のフロントライン」というタイトルで、京都府立医科大学の妹尾恵太郎先生にお話をいただきます。よろしく願いいたします。



日常に潜む脳卒中の大きなリスク、『心房細動』対策のフロントライン

— 心不全の合併率も高い不整脈「心房細動」の最新知見 —

妹尾 恵太郎 氏 (京都府立医科大学 循環器内科学 不整脈先進医療学講座 講師)



心房細動とは不整脈の一種で、血栓ができやすくなり脳卒中のリスクとなる疾患であり、長期間放置すると心不全などを発症する恐れもある。その発見・治療のためには、日常の検脈や検診、早期の受診が重要と考えられている。心房細動の実態から脳卒中との関係、そして最新の知見について、妹尾恵太郎氏にご講演いただいた。

■ 不整脈と心房細動について

不整脈とは心臓のリズム、心拍数が一定ではない状態で、大きく頻脈性不整脈と徐脈性不整脈に分けられる。健常者の心臓は1分間に60から100回規則正しく拍動するが、頻脈性不整脈の場合は1分間に100回以上と脈が非常に速くなり、徐脈性不整脈においては1分間で60回以下と、逆に脈が遅くなる。心房細動は頻脈性不整脈であるが、徐脈性不整脈の症状もあり、主な症状としては、頻脈性不整脈の場合「動悸」「息苦しさ」「呼吸困難」「めまい」など、徐脈性不整脈の場合は「失神」「めまい」「疲れやすさ」などがあげられる(図1)。しかしながら、心房細動でこうした自覚症状があるのは全体の6割程度であり、残り4割の方は無症状であることがわかっている。そのため、症状が無いゆえに受診されないといった問題がある。

図1 心房細動の症状

「動悸」以外にも、「めまい」や「疲れやすさ」など、様々な症状がある。

【主な症状】

- ・ 頻脈性不整脈
動悸、胸苦しさ、呼吸困難、めまい
- ・ 徐脈性不整脈
失神、めまい、疲れやすさ



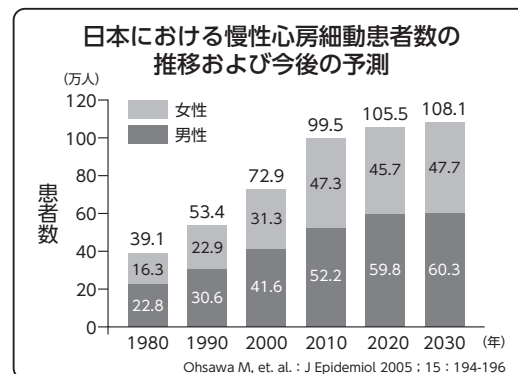
■ 心房細動の現状と病態

日本における心房細動の患者数は、2030年には108万人を超えると予測されている(図2)。高齢化に伴い今後も増えると考えられるが、これはあくまで検診や受診によって心房細動が認められた数であり、無症状の心房細動を含めた場合、推定患者数はさらに多い可能性がある。

心房細動の「心房」とは、心臓内にある「4つの部屋」のうち上の2つを指し、心臓はそこから流れる電気信号によって筋肉を収縮させて拍動する。心房細動では電気信号が乱れて心房から心室に十分な血液を送れなくなり、血液を全身に送り出す心室のポンプ機能が低下し、心不全を発症する。また発症すると心房内で血液が淀み、血の塊(血栓)ができやすくなり、その血栓が血流に乗って脳の中に飛ぶと、脳血管が詰まり、脳梗塞を発症する。特に心房細動から生じる脳梗塞は「心原性脳塞栓症」といわれ、脳の太い血管を詰まらせるため命に関わる危険な状態になることも多く、一命をとりとめても半身麻痺や寝たきりなど、非常に重い後遺症が残る場合がある。

図2 心房細動の患者数は推定100万人超

- ・日本の推定患者数は**2030年に108万人を超えると予測**
心房細動は高齢化に伴い、これからもさらに増えていくことが予想される。
- ・無症状心房細動も含めると実はもっと潜在的に患者数は多いのでは？



※「心房細動患者さんの脳をまもろうプロジェクト」HPより
http://stop-afstroke.jp/af_stroke/what.html

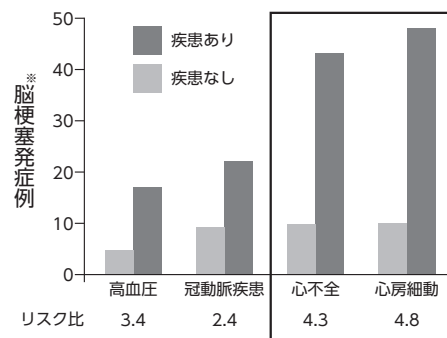
■ 心房細動に伴い増える、様々な疾患のリスク

心房細動の罹患に伴い、様々な疾患のリスクも増加する。心房細動が無い人に比べ、心房細動を有する人の死亡リスクは1.5倍から3.5倍高くなり、心不全の合併も3割に認められる。さらに認知症の発症リスクも1.4倍から1.6倍にあがるなど、全身に症状をきたす。心房細動患者の60%以上において、罹患以前に比べて生活の質が低下するというデータも出ている。そのため、心房細動はできる限り早期に発見し、治療を行うことが望まれる。

特に脳梗塞に関しては、その原因の20%から30%が心房細動によるものであり、さらには心房細動の症状があるなしに関わらず、約5倍も脳梗塞になりやすいことがわかっている(図3)。脳梗塞を予防するためには、抗凝固薬という血液をサラサラにする薬を服用するが、毎日飲む必要があるため、経年とともに飲み忘れが多くなる「服薬アドヒアランスの低下」という問題もある。

図3 心房細動と脳梗塞

- ・脳梗塞の20~30%は心房細動によるものである。
- ・症状のあるなしにかかわらず心房細動の人はそうでない人に比べ、**約5倍脳梗塞になりやすい。**
- ・抗凝固薬(血をサラサラさせる薬)は、心房細動が原因の脳梗塞のリスクを60%以上低減することが可能。
- ・**脳梗塞予防に抗凝固薬を毎日内服する必要あり。**



※1000例 2年あたりの発症例(年齢で補正)

P A Wolf, et. Al. Stroke. 1991;22:983-988

■ 心房細動になりやすい人、早期発見のためには

心房細動の危険因子は、心臓由来と心臓由来ではないものに二分される(図4)。心臓由来では、心不全や高血圧、狭心症や心筋梗塞、弁膜症が挙げられる。心臓由来でないものでは、加齢や肥満、糖尿病、飲酒や喫煙の習慣、睡眠時無呼吸症候群、ストレスや甲状腺機能亢進症などが挙げられ、特にメタボリックシンドロームや不規則な生活習慣の人は、心房細動にもなりやすい。

このように心房細動のリスクが高い人が罹患を早期発見するためには、まず「軽い息切れ」や「動悸」といった症状を見逃さないことが重要で、さらには自分で自身の脈を調べる「検脈」の励行や、家庭用心電計などを用いた自宅での心電図計測も有効と考えられる。

図4 では、どんな人が心房細動になりやすい？

心臓由来	心臓由来でないもの
心不全	加齢
高血圧	肥満
狭心症	糖尿病
心筋梗塞	飲酒や喫煙の習慣
弁膜症	睡眠時無呼吸症候群
	ストレス
	甲状腺機能亢進症

不規則なライフスタイルの人は
心房細動にもなりやすい

■ 心房細動の受診のポイントと治療

心房細動は、家庭用の心電計などの計測によって兆候が認められても、前述の通り4割は他に自覚症状もないため、危険性がなかなか認識されないケースも多い。しかし、心房細動は症状のあるなしに関わらず脳梗塞を発症するリスクが高いため、できるだけ早く病院を受診すべきである。受診に際しては、何らかの症状があった時になるべく多く記録しておく、偽陽性を減らすことができる。また家庭で記録した心電図を持参すると、判定材料にもなる。そのうえで病院でも追加の検査を実施し、心房細動の確定診断を行う。診断が確定した場合は、抗不整脈薬による内服加療を行ったり、状況によっては「カテーテルアブレーション」という、異常な電気信号を出している部位を焼灼することで、根治を目指す治療を行う。

■ 心房細動に関する最新の知見

われわれの施設で行った研究では、2019年から2020年にかけて65歳以上の高齢者約1,600人に心電図計測を実施したところ、約1%に新たに心房細動が確認された。また、その検出者を高血圧のありなしで分類すると、高血圧合併者は1.5%、高血圧がない場合は0.5%であり、これまでに認められている通り、「高血圧などの生活習慣病を有する人は、心房細動になりやすい」というデータを裏づける結果が得られている。この最新の研究結果からも、複数の生活習慣病を合併する患者が急増する超高齢社会において、命に関わる脳卒中を起こしやすい心房細動の対策は喫緊の課題といえる。そのため、われわれは心房細動の基礎知識や治療に関する動画を収録し、薬剤の飲み忘れを防ぐリマインダー機能などを備えたスマートフォン用の心房細動アプリケーションの開発も行っている(図5)。

くり返しになるが、心房細動は早期発見だけで終わらせず、診断、治療に結びつけることが重要となる。もし兆候を認めたら、可能な限り早く病院を受診いただきたい。

図5 スマホをお持ちの方は、是非ダウンロードを！

「心房細動アプリ」ダウンロード用QRコード

iPhone用	Android用
	
	

ご不明点などございましたら、
京都府立医科大学
不整脈先進医療学講座まで
お電話ください。

075-251-5511

日本心臓財団のホームページをご活用ください



<https://www.jhf.or.jp/>

▶ インターネットによるセカンドオピニオン

患者さんやそのご家族からの心臓病に関する疑問や相談をメールで受け付け、専門医が無料でメールにて回答を返信しています。

▶ AEDで助かる命

AEDと心肺蘇生に関する多くの情報をわかりやすく掲載しています。

▶ スペシャルコンテンツ

● 高齢者の心不全

超高齢社会により急増している高齢者の心不全について、わかりやすく解説しているサイトです。

● 心臓病をよく知ろう～専門医によるビデオ講座

最近、高齢者に増加している不整脈、心房細動と、その心房細動や高血圧、弁膜症、心筋梗塞などにより心臓の働きが低下して起こる心不全についてビデオでわかりやすく解説しています。

(協力：バイエル)

● うまく向きあう、一生付きあう

(心筋梗塞再発予防啓発プロジェクト)

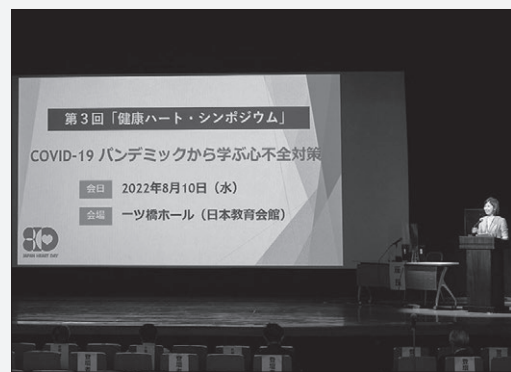
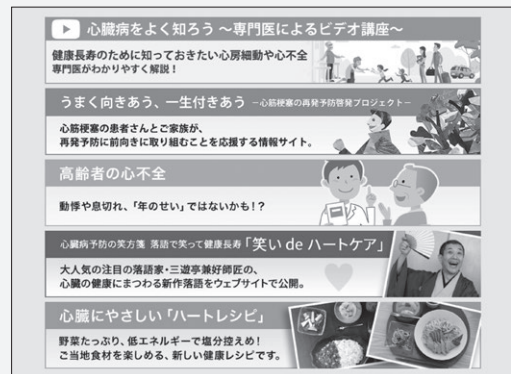
心筋梗塞の患者さんとそのご家族が再発を予防するための情報をまとめたサイトです。

(協力：アムジェン)

● 心臓病予防の笑方箋「笑い de ハートケア」

笑って健康になっていただこうと、三遊亭兼好師匠のオリジナル落語や、心臓病予防と笑いについての解説などが掲載されています。

(協力：エドワーズライフサイエンス)



● 第3回 健康ハート・シンポジウム ●

2022年8月10日の健康ハートの日に開催されました「第3回健康ハート・シンポジウム：COVID-19パンデミックから学ぶ心不全対策」(医療従事者向け)の講演内容を公開しました。



月刊誌

「心臓」ご購入のお願い

2020年1月号(52巻1号)より、小室一成 編集委員長のもと委員体制、掲載内容ともに刷新され、最新の特集のほかにも連載、投稿論文、Editorial Comment を多数掲載。充実した内容となっています。

2023年 特集予定

- 55巻1号 変わりゆく高齢者の循環器診療
 55巻2号 座談会 不整脈非薬物治療ガイドラインの改訂ポイントは？
 ～デバイス編～
 55巻3号 右心系カテーテルインターベンション治療の進歩

連載

[HEART @ Abroad]

「循環器内科医・心臓外科医の海外留学の実際」番外編

日本に留学されている外国の先生の国の教育制度、留学の経緯や現在を語るエッセイ

[HEART's Column]

「Authorが語る日本発のクリニカル・エビデンス：論文の解説と発表後の展望」

研究の概説や苦労なされた点、それを克服するための工夫、今後の展望など臨床試験や研究に Authorとして活躍された先生からの熱いメッセージ

[HEART's Up To Date]

「循環器医が知っておくべき最新のエビデンス」
 編集委員が今、読むべき最新の主要文献を紹介

年間購読のご案内

開始号数と必要事項(お名前・ご住所・お電話番号)をご記載のうえ、メール (shinzo.sp@jmps.co.jp)、FAX (03-5800-2351)、お電話 (03-5800-2350) でお申し込みください。専用の振込用紙をお送りいたします。お近くの書店(店頭でのお受取り/指定先への配送)でもお申込みいただけます。



発行：日本心臓財団・日本循環器学会
 発売：日本医学出版

公益財団法人 榊原記念財団

第21回(2023年度)榊原記念研究助成金 募集要項

■助成対象課題：

【心不全に迫る：基礎と臨床から】

(一件200万円を限度とし、若手研究者を対象とします。)

■対象研究者

- 1) 大学又は研究機関に所属する研究者。
- 2) 応募締切日において年齢40歳未満の者。
- 3) 候補者自身が計画した研究課題を持つこと。
- 4) 大学・大学院・研究所等の教授、准教授、病院・研究所等の部長職以上の職にあるものは対象としない。
- 5) 国籍、所属機関、性別は問いません。

*お一人で複数のテーマでの応募は受け付けません。

なお、一度この研究助成をお受けになられた方は、ご遠慮ください。

■研究期間：2023年9月～2025年8月

■業績について：

研究者自身に帰属いたしますが、研究終了時に当会の研究成果発表会(日程未定)で発表し、成果報告書を提出していただきます。

また、学会、論文等にて発表の際は当会の研究助成によることを明確にさせていただきます。

■受付締切：2023年4月5日(水)(同日到着のものまで)

詳細は、公益財団法人 榊原記念財団ホームページをご参照ください。

<http://www.hq.heart.or.jp/research-g/guidelines/>



教室(医局)・病院(医院)・医師会賛助会員の皆様

日本心臓財団と日本循環器学会が共同発行している月刊誌「心臓」の発行と当財団の運営を支えていただいている賛助会員の皆様を感謝の意を表して掲載させていただきます。

教室(医局)賛助会員

札幌医科大学循環器内科	東邦大学循環器内科	大阪医科薬科大学内科学Ⅲ
北海道大学循環器内科	東邦大学医療センター大橋病院循環器内科	大阪大学循環器内科
弘前大学循環器腎臓内科	日本医科大学循環器内科	大阪大学臨床遺伝子治療学
東北医科薬科大学循環器内科	日本医科大学多摩永山病院循環器内科	関西医科大学循環器内科
東北大学循環器内科	日本大学循環器内科	近畿大学奈良病院循環器内科
山形大学第一内科	北里大学循環器内科	奈良県立医科大学循環器内科
筑波大学循環器内科	昭和大学藤が丘病院循環器内科	神戸大学循環器内科
群馬大学循環器内科	聖マリアンナ医科大学循環器内科	神戸大学心臓血管外科
千葉大学循環器内科	東海大学循環器内科	鳥取大学循環器内科
帝京大学ちば総合医療センター循環器内科	横浜市立大学循環器内科	広島大学循環器内科
日本医科大学千葉北総病院循環器内科	信州大学循環器内科	山口大学器官病態内科学
埼玉医科大学国際医療センター心臓内科	新潟大学循環器内科	香川大学循環器・腎臓・脳卒中内科
自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科	金沢医科大学循環器内科	愛媛大学循環器内科
獨協医科大学埼玉医療センター	金沢大学循環器内科	徳島大学循環器内科
杏林大学循環器内科	金沢大学心臓血管外科	高知大学老年病・循環器内科
慶應義塾大学循環器内科	富山大学第二内科	九州大学循環器内科
順天堂大学循環器内科	福井大学循環器内科学	久留米大学心臓血管外科
帝京大学循環器内科	順天堂大学医学部附属静岡病院	福岡大学心臓血管内科
東海大学医学部附属八王子病院	浜松医科大学循環器内科	佐賀大学循環器内科
東京医科歯科大学循環器内科	名古屋市立大学循環器内科	長崎大学循環器内科
東京医科大学循環器内科	名古屋大学循環器内科	大分大学循環器内科
東京医科大学八王子医療センター循環器内科	藤田医科大学循環器内科	熊本大学循環器内科
東京慈恵会医科大学循環器内科	滋賀医科大学呼吸循環器内科	宮崎大学循環器内科
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター循環器内科	三重大学循環器内科	鹿児島大学心臓血管内科
東京女子医科大学附属足立医療センター心臓血管診療部	京都大学循環器内科	
東京大学循環器内科	京都府立医科大学循環器・腎臓内科	

病院(医院)賛助会員

旭川リハビリテーション病院	小田原循環器病院	福山循環器病院
木原循環器科内科医院	横浜栄共済病院	さくらぎ循環器・内科クリニック
札幌中央病院	横浜南共済病院	美祢市立病院
札幌心臓血管クリニック	済生会横浜市南部病院	済生会今治病院
札幌東徳洲会病院	抱生会丸の内病院	今治第一病院
北海道大野記念病院	金沢医療センター	喜多医師会病院
北海道社会事業協会帯広病院	済生会富山病院	市立宇和島病院
本荘第一病院	富山赤十字病院	近森会近森病院
仙台厚生病院	市立湖西病院	春陽会うえむら病院
仙台循環器病センター	聖隷浜松病院	新小文字病院
三友堂病院	トヨタ記念病院	杉循環器内科病院
大原総合病院	澄心会名古屋ハートセンター	福岡記念病院
福島赤十字病院	藤田医科大学ばんたね病院	福岡新水巻病院
高安内科循環器科	岐阜県総合医療センター	福岡靑洲会病院
国際医療福祉大学病院	澄心会岐阜ハートセンター	済生会福岡総合病院
新小山市民病院	慈朋会澤田病院	ヨコクラ病院
慶友会慶友整形外科病院	松波総合病院	大分岡病院
博仁会第一病院	近江八幡市立総合医療センター	済生会熊本病院
千栄会高瀬クリニック	伊勢赤十字病院	都城市郡医師会病院
鶴谷病院	宇治病院	青仁会池田病院
輝城会沼田脳神経外科循環器科病院	京都桂病院	鹿児島市医師会病院
蜂谷病院	ゆやまクリニック	鹿児島生協病院
東葛病院	小松病院	翔南会翔南病院
かわぐち心臓呼吸器病院	松下記念病院	かりゆし会ハートライフ病院
関越病院	みどり病院	
北里大学メディカルセンター	毅峰会吉田病院	
埼玉県立循環器・呼吸器病センター	高清水高井病院	
さいたま市民医療センター	健生会土庫病院	
深谷赤十字病院	公立那賀病院	
板橋中央総合病院	新宮市立医療センター	
江戸川病院	誠佑記念病院	
関東中央病院	北播磨総合医療センター	
榎原記念病院	倉敷中央病院	
聖路加国際病院心臓血管センター	しげい病院	
虎の門病院	JR広島病院	
野村病院	県立広島病院	
東大和病院	東広島医療センター	
武蔵野赤十字病院	済生会広島病院	

医師会賛助会員

日本医師会
 東京都医師会
 上尾市医師会
 葛飾区医師会
 藤岡多野医師会
 前橋市医師会

法人賛助会員の皆様

日本心臓財団の事業の維持と発展にご協力いただいております法人賛助会員のご芳名を感謝の意を表して掲載させていただきます。

(五十音順)	三栄メディス株式会社	様	日本光電工業株式会社	様
株式会社アクセル	株式会社ジェイエムエス	様	日本心臓ペースメーカー友の会	様
旭化成ゾールメディカル株式会社	住友大阪セメント株式会社	様	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	様
アステラス製薬株式会社	住友金属鉱山株式会社	様	日本メドトロニック株式会社	様
アストラゼネカ株式会社	株式会社SUMCO	様	日本ライフライン株式会社	様
アボットメディカルジャパン株式会社	株式会社世界貿易センタービルディング	様	パイエル薬品株式会社	様
アムジェン株式会社	ゼリア新薬工業株式会社	様	ファイザー株式会社	様
株式会社池野商店	第一三共株式会社	様	フクダ電子株式会社	様
有限会社池野ビルメンテナンス	大正製薬株式会社	様	ブルーミング中西株式会社	様
エドワーズライフサイエンス株式会社	ダイナメックジャパン株式会社	様	古河機械金属株式会社	様
オキシゲンアンドパートナーズ株式会社	大日本住友製薬株式会社	様	ベストセレクション株式会社	様
小野薬品工業株式会社	中外製薬株式会社	様	ボストン・サイエンティフィック	
オムロンヘルスケア株式会社	帝人ファーマ株式会社	様	ジャパン株式会社	様
株式会社オリンピック製薬	テルモ株式会社	様	三井金属鉱業株式会社	様
カメラ買取市場	東京海上日動火災保険株式会社	様	株式会社三井住友銀行	様
カリフォルニアくるみ協会	東邦亜鉛株式会社	様	株式会社三菱総合研究所	様
キヤノンメディカルシステムズ株式会社	株式会社東横イン	様	三菱電線工業株式会社	様
救心製薬株式会社	トーアエイヨー株式会社	様	三菱マテリアル株式会社	様
株式会社協和企画	NISSHA株式会社	様	明治安田生命保険相互会社	様
キリンホールディングス株式会社	株式会社日清製粉グループ本社	様	持田製薬株式会社	様
株式会社グロースライフ	日鉄鉱業株式会社	様	株式会社ヤガミ	様
ケンツメディコ株式会社	日本アビオメッド株式会社	様		
興和株式会社	日本軽金属株式会社	様		

当財団をご支援くださる方

賛助会員として本年度にご支援をいただいた方々のご芳名を掲載させていただきます。(2022年9月～11月)(五十音順)

臼田 和生様 岡川 英雄様 荻野 和郎様
 鍵山俊太郎様 加藤 逸夫様 古賀 義則様
 佐々木進次郎様 代田 浩之様 瀧本 英樹様
 竹越 襄様 田中 弘允様 橋場 邦武様
 濱 正孝様 平田 健一様 前村 浩二様
 松井 義明・美恵子様 室原 豊明様
 山口 巖様 山科 章様 家森 幸男様
 他 匿名2名

当財団へご寄附をいただいた方

次の方々からご寄附を賜りました。ご芳名を感謝の意を表して掲載させていただきます。(2022年9月～11月)(五十音順)

阿部 芳巳様 石川 弓子様 小川 裕子様 加藤たみ枝様
 神奈川IDES研究会様 神蔵 栄市様 木原 和博様
 近藤絵美理様 田中利恵子様 粒良 幸正様
 日本アエロジール株式会社様 長谷部直幸様 平井 裕二様
 前田 幸大様 三輪 牧人様 望月 義夫様 他 匿名5名

■セカンドオピニオンへのご寄附

樋泉 進様 松井 義明・美恵子様 他 匿名1名

■健康ハートの日

株式会社横浜フリースポーツクラブ様

ご寄附のお願い

日本心臓財団は、循環器病を克服するため、研究助成、予防啓発、さらに循環器病に関する皆様からのメール相談などを行ってまいりました。今後もこのような活動を継続させていただけますよう、皆様からのご支援をお待ち申し上げております。何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

当財団は公益財団法人の認定を受けておりますので、当財団へのご寄附は税法上の優遇措置が適用され、所得税(個人)、法人税(法人)の控除が受けられます。

また、税額控除に係る証明を取得しておりますので、個人の方からのご寄附につきましては所得控除と税額控除のいずれか一方を選択いただくことができます。

■三井住友銀行 丸ノ内支店

普通 0801474

■三菱UFJ銀行 丸の内支店

普通 4025878

■ゆうちょ銀行

一般振替口座 00140-3-173597

(ゆうちょ銀行 ○一九(ゼロイチキユウ)店

当座 0173597)

口座名：公益財団法人 日本心臓財団

ザイ)ニホンシンソウザイダン